

ふくしの魅力発見ゾーン 予告ストーリー

1.「未来モデル」

障害のある利用者が活躍できるよう、日々生産設備を改良している彼の工場。そこで毎日のように生まれるアイデアと一人ひとりの成長。小さなイノベーションが毎日起きるのはなぜでしょう…？

2.「感動で、満たされる」

彼女が働くのは、特別なサポートを必要とする2歳から5歳の子どもたちを支援する児童発達支援施設です。子どもたちは日々、自分のペースで少しずつ成長していきます。そんな彼女が、卒園式で誇らしげに歩く子どもたちの姿を見たとき、どんな感情になったでしょうか…？

3.「寄り添う、その先」

高校時代に高齢者施設でボランティアをして以来、福祉の仕事に魅力を感じた彼女。デイサービスで働き始めて10年以上が経ちました。時に発せられる利用者のネガティブな言葉の裏にある本当の気持ちに気づいたとき、彼女はどんな言葉をかけたのでしょうか…？ 寄り添うこととはどういうことか。

4.「成長を、信じる」

彼が出会ったのは、周囲とうまく馴染めず、悩んでいた 18 歳の少年。最初は挨拶すらできなかったようです。それがある日「ちゃんと就職したい」と決意を語ります。その後、彼はどのように 18 歳をサポートし、どう変わっていったのでしょうか…？

5.「子どもはよく見ている」

念願の保育士として働き始めた彼女は、理想と現実のギャップに悩んでいました。子どもたちが自分の話を聞かない現実に、保育士失格ではないかと不安を感じていたとき、先輩からかけられた一言が彼女を変えます。その一言が、どのように彼女の考え方を変え、いま彼女は保育士の仕事をどう思っているでしょう…？

6.「やさしい時間」

障害者支援施設で働き始めた彼女が出会ったのは、新しい環境に不安を抱え、部屋に戻ることができない利用者でした。何をしても反応がない中で、彼女は諦めずに声をかけ続けました。その結果、徐々に心を開いてくれた利用者との間に生まれた信頼とは…？

7.「たったひとつの言葉に」

会話が少なく心を閉ざしていた利用者が、ある日初めて彼女の名前を呼びました。何千回も聞いたはずの自分の名前が、この時ばかりは特別に感じた瞬間。彼女がその言葉に胸を打たれたのはなぜでしょうか…？

8.「耳を澄ます」

障害のある人が就職先を見つけ、安定して働けるようにサポートする彼女の仕事は、就職後も続きます。ある日、悩みを抱えた卒業生が相談に訪れました。彼女がどのようにその卒業生の声に耳を傾けていったのか…？

9.「一緒に笑って泣いて」

保育園の年長児が集まって行われる年長交流会。子どもたちは優勝を目指して一生懸命にリレーの練習に励んでいました。リレー本番、どんな結果を迎えたのでしょうか。そして、その出来事は、どのような形で彼女の心に刻まれたのでしょうか…？

10.「ゆっくりとした時間」

中学生の頃、初めて高齢者施設で職場体験をしたとき、彼が感じたのは、何気ない朗らかな笑顔とゆっくりと流れる時間でした。それは彼の心に深く刻まれ、その後の人生に大きな影響を与えることとなります。「人の心に寄り添う仕事したい」と強く決意したその時、彼はどう動き始めたのでしょうか…？

11.「プロだから」

言語聴覚士として、子どもたちの発音を支援する彼。特に舌の動きを調整することにこだわり、発音が正しくなるよう日々努力しています。プロ意識を持つ彼はどのように子どもたちの未来を開くのでしょうか…？

12.「育ち合いの場」

「子育てひろば」での活動を通じて、彼女を感じるのには、親子が共に育ち合う喜び。子どもたちがやり遂げたときの表情や、保護者が新たな挑戦に踏み出す瞬間に、彼女が見つけた感動とは…？

13.「工夫し、試す」

理学療法士として、彼女は障害のある方々がパラスポーツを楽しめるよう、日々工夫を重ねています。握力のない方が競技をできるようにするための工夫や道具の改善など、彼女が試行錯誤を続けて見つけた「挑戦の楽しさ」とは…？

14.「一人ひとりが『できた！』」

放課後等デイサービスで働く彼は、子どもたちに安心できる場所を提供し、成功体験を積み重ねさせています。「できた！」という瞬間が増えることで、子どもたちにどんな自信と変化が生まれるのでしょうか…？

15.「全力で楽しむ」

学童指導員として、子どもたちと全力で遊び、学び合う彼。忙しい毎日の中で、子どもたちと一緒に笑ったり泣いたりしながら、彼が気づいた学童の特別な意味とは…？

16.「育ての専門家」

保育士として、子どもたちの小さな変化に敏感に気づき、対応する彼女。転んでも手を出せない子どもたちや、動画の見すぎで現実との区別がつかない子どもたちを支える彼女の「育ての専門家」としての役割とは…？

17.「言葉を超える」

言葉を発しない利用者どう心を通わせるか、最初は戸惑いがあった彼女。しかし、スポーツイベントを通じて心のつながりを見つけた時、彼女が感じた「言葉を超える力」とは…？